

サンタクロース物語

丸山秀一

仮説実験授業研究会・北海道

2000.12.18

シーベリィ・クイン著 荒俣宏訳 「道」

『クリスマス・ストーリー集1 贈り物』角川文庫 より

[質問]

サンタクロースの本名はクラウスといます。では、クラウスは現在の国でいうとどこの国の出身でしょうか。

予想

- ア イスラエル
- イ イタリア
- ウ ドイツ
- エ ノルウェー

[質問]

クラウスはノルウェーの出身です。では彼がイエスと出会うまで、彼はどんな仕事をしていたのでしょうか。

予想

ア ユダヤ教の司祭

イ 兵士

ウ 農民

エ 剣闘士

[質問]

イエスが誕生したとされるベスレヘムはエルサレムの南約 9 キロに位置する町です。その当時のパレスチナは、ヘロデ王がローマ帝国の庇護の元、ユダヤ王として治めていました。

クラウスはそのヘロデ王の雇われ剣闘士でした。剣闘士とは、見せ物として命がけの闘いをする人たちのことです。

では、クラウスとイエスの最初の出会いはどんな様子だったのでしょうか。

予想

- ア イエスが試合を見に来た
- イ イエスが傷ついたクラウスを救った
- ウ クラウスがイエスの命を救った
- エ クラウスがイエスを殺しそうになった

[質問]

ヘロデ王は「救世主たるユダヤの王がベスレヘムに生まれる」という予言を聞き、自分の保身のため、ベスレヘムの2歳以下の子どもをすべて虐殺しました。

生まれたばかりのイエスもヘロデ王の親衛隊に殺害されそうになりましたが、そこを救ったのがクラウスでした。

それでは「サンタクロース」はいくつぐらいの人だと思いますか。

予想

- ア 60歳以上の老人
- イ 30～40歳ぐらいの中年
- ウ 20歳ぐらいの若者
- エ そのほか

[質問]

クラウドがイエスを救ったとき、イエスはクラウドに「汝は命を懸けて幼子の命を救ってくれた。汝は余のためになすべき仕事を果たし終えるまで、汝の名を子どもたちが口にする限り、汝は決して死ぬことはない。」と告げました。この時点で彼は不老不死となったのです。

では、クラウドは独身でしょうか。それとも結婚しているのでしょうか。結婚しているとしたら、彼の妻はどんなひとでしょうか。

予想

- ア 独身
- イ 妻は元兵士
- ウ 妻は元僧侶
- エ 妻は元娼婦

[質問]

彼の奥さん = ウナは、娼婦でした。ウナは自分の体を清らかにすることをイエスに願い、イエスはそれを叶えました。そしてイエスはクラウドにウナを娶るように告げたのです。

さてクラウドとウナが結婚したのは、クラウドが幼子イエスを救ってから 30 年後のことでした。当時、クラウドは何をやっていましたのでしょうか。

予想

- ア イエスの弟子
- イ ユダヤ教の司祭
- ウ 兵士
- エ 剣闘士
- オ そのほか

[質問]

ヘロデ王の命令に背くことになったクラウスは、ヘロデ王から逃げるために、ローマ軍に身を投じました。そしてウナと結婚したときには、彼はローマ軍のエルサレム守備隊の百人隊長でした。

イエスが殺害されるまでに、クラウスはイエスともう一度出会いました。どんな再会だったのでしょうか。

予想

- ア クラウスがイエスの弟子となった
- イ クラウスがイエスを密告した
- ウ クラウスがイエスを殺害した
- エ クラウスがイエスを復活させた

[質問]

イエスは当時のユダヤ人支配者から忌み嫌われました。彼の考えはユダヤの戒律に合わなかったからです。それで彼らはイエスを謀反の罪で張り付けにしました。その処刑はローマ軍が執り行い、ふつうならば手足の骨をうち砕かれるところだった十字架上のイエスを哀れんで、クラウスは彼の心臓を槍で一突きにして殺しました。イエスは「汝はまた慈悲をたれた」といい、クラウスは今殺した男がかつて彼が救った幼子だったことに気がつきました。

イエスの死後やがてキリスト教は全世界に広がっていきます。しかしそれと反対にクラウスとウナは迫害を受けるようになり、逃避行の旅をすることになりました。それはなぜでしょうか。

予想

- ア 魔女とされたから
- イ キリスト教の信者にはならなから
- ウ ローマ帝国が崩壊したから
- エ イエス殺しの罪を問われたから

[質問]

クラウドとウナは不老不死でした。だからその後もずっと生き続け、十字軍にも参加しました。しかしキリスト教徒軍が回教徒を虐殺するのを見て、彼らの宗教 = 教会に対する反発が強まっていきました。またクラウドとウナはイエスのことを実際に知っていましたので、教会関係者と意見が対立することも少なくありませんでした。そして、いつまでも若々しく、イエスと実際にあったかのように話す彼らを、当時の人は魔女と呼び、火あぶりにかけようとしていました。

さてサンタクロースが赤い服装なのはどうしたわけなのでしょうか。

予想

- ア クラウドが赤が好きだった
- イ ウナが作ってくれた
- ウ イエスのお告げ
- エ クラウドのマントの色だった

[質問]

彼らは魔女狩りから逃げるため北へ北へと向かいました。ライン川沿いのある寒村にたどり着いたときに、その村はクリスマスだというのに凶作のため、ひもじい生活をしていました。それを見たクラウスは、子どもたちに喜んでもらうため、木を切ってそりのおもちゃを作りました。ウナはそのそりに載せるお菓子や果物を用意しました。そしてクリスマス・イヴの晩、彼らはそれを家の戸口にそっと置いて回りました。その光景をある子どもがそっと窓から見ていました。彼が見た深紅のマントは、村人で知らぬものはいない栄誉の大戦士クラウスのものに違いありませんでした。そして村人はこぞって彼を聖クラウス＝サンタ・クラウスと呼びました。

クラウス達は、いまどこに住んでいるのでしょうか。

予想

- ア 北極
- イ 南極
- ウ ノルウェー
- エ スウェーデン
- オ そのほか

長い道

クラウドとウナが村人にしたことは、聖職者の反感を買いました。「反キリスト的行為で、反逆を企てている」というのです。それでクラウド達は、また逃亡の旅に出ました。彼らは、北へ進み、とうとう前人未踏の妖精の住む国へと足を踏み入れました。

妖精はクラウドに、「かつては一緒に共存していた人間達が、キリスト教の布教により、自分たちを悪魔だとして遠ざけるようになった」といいました。そしてクラウドと妖精達は、人間への奉仕の心を持つ妖精達がプレゼントを作り、クラウドがそれを配達する ということにしました。

妖精達は忠誠のあかしとして、クラウドに魔法のそりとトナカイを贈りました。それは空を飛べるものでした。

今彼らは人間の手の届かない北極の地に暖かい家を建てて住んでいます。クラウドはもう2千年近くも、彼の仕事を果たしています。そして、その仕事は今後も子どもたちが彼の名を忘れない限り終わることはないのです。

解説

クリスマスにはサンタクロースが付き物です。でも彼がどんな人で、なぜプレゼントを配って回るのかを知っている人はほとんどいません。もちろんサンタクロースは「ウソの世界」のひとです。でもこんなにたのしいウソは、そのままにしておきたいのです。そこでボクが見つけた彼について納得できる感動的な「伝記」をもとにプランのようにしてみました。ボクは、毎年この話を生徒さんたちにして、とても好評です。こういうプラン形式にするために、「スーパー・ニッポニカ」(小学館)で歴史的背景を調べました。

作者のシーベリィ・クインは米国ワシントン生まれで、法律と医学を学んだ人です。作品には怪奇・幻想小説が多いようです。彼はこのサンタクロースの作品にふさわしく、1969年のクリスマス・イブにこの世を去りました。

この「道」が収録されている角川文庫は、いま絶版で新刊としては入手できません。でも古書店では1000円ぐらいで入手可能ですので、ぜひ読んでみてください。

反応を歓迎いたします。

Kasetsu.maruyama@nifty.com

丸山 秀一